

2012 年 2 月 1 日

ソニーグループの新経営体制について

ソニー株式会社(以下、ソニー)は、代表執行役 副社長の平井一夫が、2012 年 4 月 1 日付で社長 兼 CEO に就任することを発表しました。代表執行役 会長 兼 社長 CEO であるハワード・ストリンガーは、2012 年 6 月に取締役会議長に就任します。

上記 4 月 1 日付人事はストリンガーよりソニーの取締役会に提案され、決議されたものです。ストリンガーは 2012 年 6 月の定時株主総会までソニーの代表執行役 会長職を継続します。そして、この株主総会をもって退任する現取締役会議長の小林陽太郎を引き継ぎ、株主総会直後の取締役会の決議を経て、取締役会議長に選任される予定です。また平井は 6 月の定時株主総会において、取締役に選任される予定です。

ハワード・ストリンガーのコメント:

「2009 年 2 月に次世代のリーダーたちをマネジメントチームに指名した頃より、取締役会と私の後任についての議論を始めました。複数のリーダーたちの中でも平井は、特にプレイステーションビジネスとネットワークエンタテインメントビジネス領域で大きな実績をあげ、これからのソニーの経営をリードしていくのに相応しい人物であるということを実証してきました。平井はグローバルな視座を持つ経営者であり、テクノロジーやクラウド、コンテンツやデジタルの領域にも精通しています。平井の意志の強さと統率力は、これからのソニーおよびソニーのお客様に大いに資するものであると考えています。平井を中心とする経営体制が着実に軌道にのり、成功するよう、しっかりとサポートしていきます。平井はソニーを率いて行くことのできる人物であり、またこの交代には今が適切なタイミングであると考え、社長 兼 CEO として取締役会に彼を推薦しました。」

平井一夫のコメント:

「現在も課題はまだ数多くありますが、過去 7 年間、ハワードの強いリーダーシップで陣頭指揮をとってこなければ、ソニーはもっと困難な状況に置かれていたのではないかと思います。この新たな責務を拝命するにあたり、ハワード及び取締役会からの信頼に感謝すると同時に、ソニーグループの全てのメンバーとこれまで以上に密に手を携え、お客様、株主の皆様、ビジネスパートナーの皆様、そして従業員のために、強いソニーを創り上げていかなければならないと決意を新たにしています。まず着手すべき重点課題として、エレクトロニクスビジネスを支えるデジタルイメージング、ゲーム、そしてスマートモバイルの各領域の強化、テレビビジネスの立て直し、そしてイノベーションの加速と新規事業の創出を掲げ、これを実行してまいります。ソニーの多様なエレクトロニクス商品と、豊富なエンタテインメント資産、そして成長するネットワークサービスを徹底的に活用し、世界中のお客様に新しく楽しい体験をお届けするための土台づくりは既にしっかりと行ってきています。これからは新経営陣一丸となって、その体験をいち早くお客様にお届けできるよう、まい進いたします。」

小林陽太郎のコメント

「ソニーの取締役会は、世の中がアナログ時代からデジタル時代に変化する中、ソニーの重要な変革をリードしてきたストリンガー氏の尽力に感謝しています。ストリンガー氏は、デジタル時代には、ハードウェア、コンテンツ、ネットワークを融合することで、初めてお客様に魅力的な体験を提供できるということを実証してくれました。

われわれ取締役は、ストリンガー氏の提案を支持し、平井氏が今後のソニーをリードするために最適の人物であると判断しました。平井氏は人をカづけ、チームを育て、厳しい決断をし、目の前の課題やその克服方法を明快に分析し、深い洞察を行うことのできる希有な能力の持ち主です。同時に私たちは、ストリンガー氏が取締役会の意向を受け入れ、6月以降、取締役会議長として彼の指導力と経験を引き続き発揮してくれることを喜ばしく思っています。」

以 上
